

青森県経済統計報告

平成18年12月11日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成18年11月1日現在）…………… 1

県人口	1,422,852人（対前月 560人 減少）
自然動態	259人減少（出生者数 946人、死亡者数 1,205人）
社会動態	301人減少（転入者数 1,737人、転出者数 2,038人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、生産面や消費面の一部に改善の動きが見られる。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の 平成18年9月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済 …… 2
生産動向 指数が95.7で、前月比3.1%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は98.7で、前年同月比2.9%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成18年9月の定期給与は225,256円で前年同月比3.2%減となった。 …… 3
総実労働時間は158.6時間で前年同月比1.4%減、所定外労働時間は8.9時間で前年同月と同水準となった。
平成18年10月の有効求人倍率(季節調整値)は0.45倍で、前月より0.03ポイント上回った。
- (2-3) 物価 平成18年10月の青森市消費者物価指数は、平成17年を100として100.0 …… 4
となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 平成18年9月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが134億3千3百万 …… 5
円で前年同月比0.4%減と2ヶ月ぶりに減少、既存店ベースでは1.3%減と10ヶ月連続で減少となった。
平成18年10月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,545台で、前年同月比4.7%の減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 平成18年10月の新設住宅着工戸数は847戸で、前年同月比10.6%増と …… 6
なり、3ヶ月連続で前年を上回った。
- (2-6) 企業倒産 平成18年10月の企業倒産件数は10件で、3ヶ月連続で前年を上回った。 …… 6

（3）景気動向指数（平成18年9月分）…………… 7

先行指数	44.4%（2か月ぶりに50%を下回った）
一致指数	77.8%（6か月ぶりに50%を上回った）
遅行指数	50.0%（2か月ぶりに50%を下回った後50%となった）

1 青森県の推計人口(平成18年11月1日現在)

【概況】

平成18年11月1日現在の本県推計人口は、1,422,852人で、前月に比べ560人の減少となった。

○自然動態

出生者数が946人、死亡者数が1,205人で、259人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,737人、転出者数が2,038人で、301人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	
17.11.1	1,436,314	678,863	757,451	-0.024%	-343	-259	931	1,190	-84	1,777	1,861
17.12.1	1,435,654	678,494	757,160	-0.046%	-660	-366	863	1,229	-294	1,323	1,617
18.1.1	1,434,936	678,117	756,819	-0.050%	-718	-418	790	1,208	-300	1,184	1,484
18.2.1	1,433,691	677,440	756,251	-0.087%	-1,245	-685	851	1,536	-560	1,119	1,679
18.3.1	1,432,695	696,915	755,780	-0.069%	-996	-470	754	1,224	-526	1,217	1,743
18.4.1	1,426,703	673,671	753,032	-0.418%	-5,992	-393	925	1,318	-5,599	4,191	9,790
18.5.1	1,425,934	673,296	752,638	-0.054%	-769	-356	818	1,174	-413	4,422	4,835
18.6.1	1,425,271	672,856	752,415	-0.046%	-663	-271	984	1,255	-392	1,643	2,035
18.7.1	1,424,530	672,338	752,192	-0.052%	-741	-279	910	1,189	-462	1,345	1,807
18.8.1	1,424,090	672,039	752,051	-0.031%	-440	-217	914	1,131	-223	1,930	2,153
18.9.1	1,423,840	671,898	751,942	-0.018%	-250	-239	923	1,162	-11	2,171	2,182
18.10.1	1,423,412	671,651	751,761	-0.030%	-428	-146	940	1,086	-282	1,590	1,872
18.11.1	1,422,852	671,368	751,484	-0.039%	-560	-259	946	1,205	-301	1,737	2,038

10月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平9.10	10.10	11.10	12.10	13.10	14.10	15.10	16.10	17.10	18.10
自然動態	出生者数	1,233	1,093	1,034	1,169	1,233	1,160	1,037	911	931	946
	死亡者数	1,117	1,021	1,002	1,086	1,178	1,123	1,090	1,169	1,190	1,205
	自然増減数	116	72	32	83	55	37	-53	-258	-259	-259
社会動態	県外からの転入者数	2,242	1,996	2,008	2,008	2,137	1,978	2,165	1,791	1,777	1,737
	県外への転出者数	1,801	1,672	1,635	1,675	1,833	1,989	1,990	1,746	1,861	2,038
	社会増減数	441	324	373	333	304	-11	175	45	-84	-301

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

※2 平成17年11月以降の人口は平成17年国勢調査人口を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

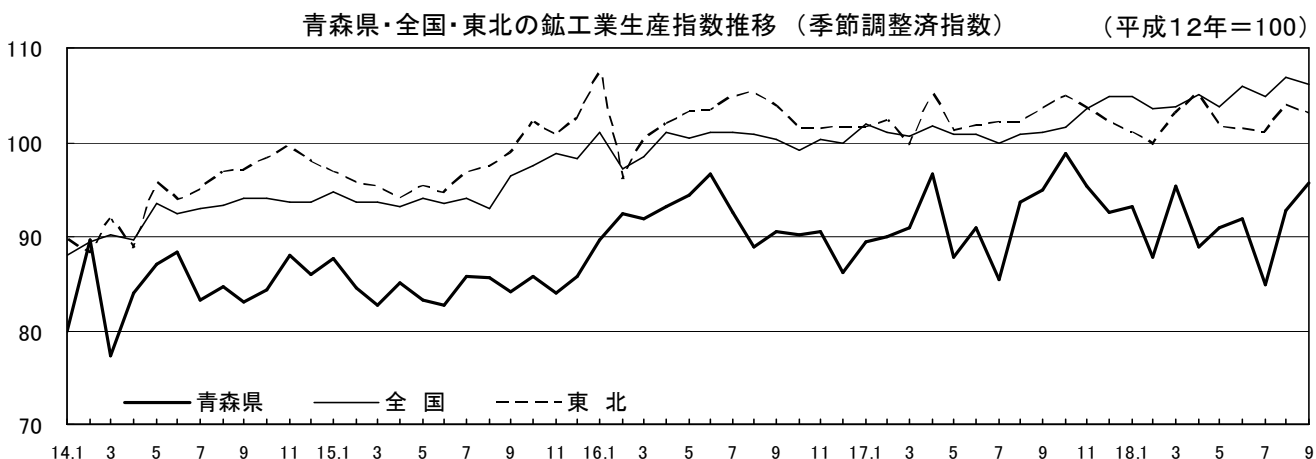
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

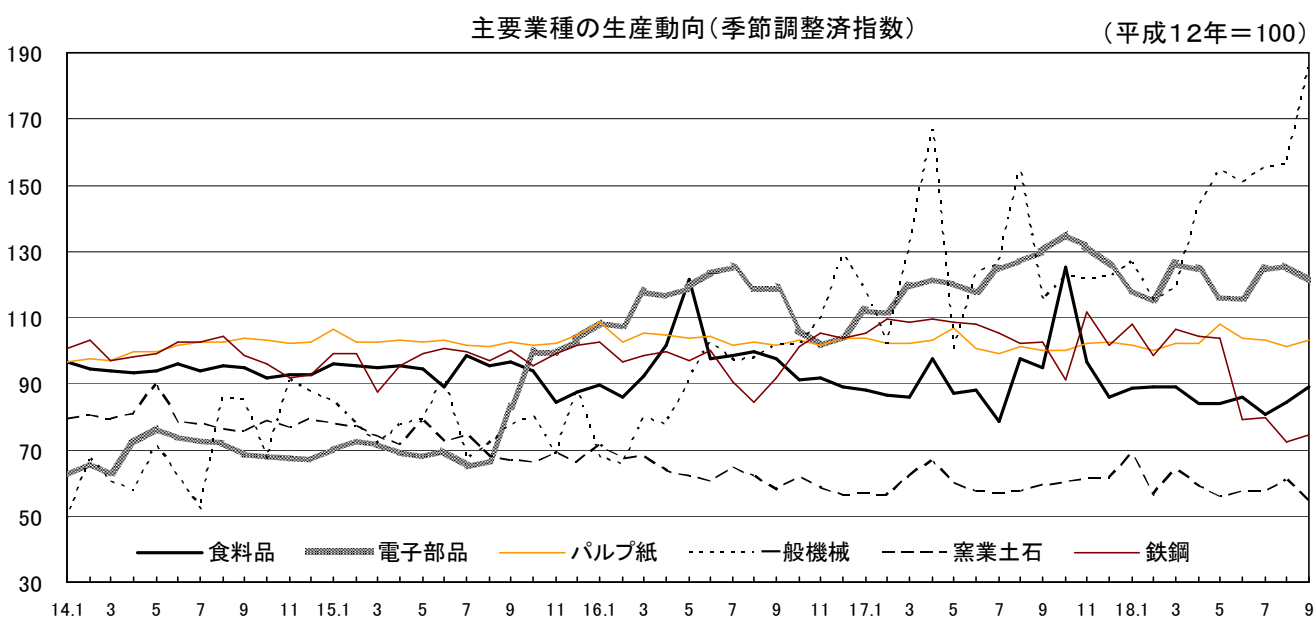
平成18年9月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が95.7で、前月比3.1%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は98.7で、前年同月比2.9%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、一般機械工業、食料品工業、電気機械工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業などが低下し、鉱工業全体では3.1%の上昇となった。



◎業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 +3.1%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
一般機械工業	19.0	117.0	化学工業	-36.8	-114.7
食料品工業	5.7	81.6	電子部品・デバイス工業	-3.5	-34.2
電気機械工業	10.0	55.7	窯業・土石製品工業	-10.9	-25.0
金属製品工業	15.1	32.8	鉱業	-21.5	-21.5
プラスチック製品工業	25.4	23.6	輸送機械工業	-22.8	-15.2



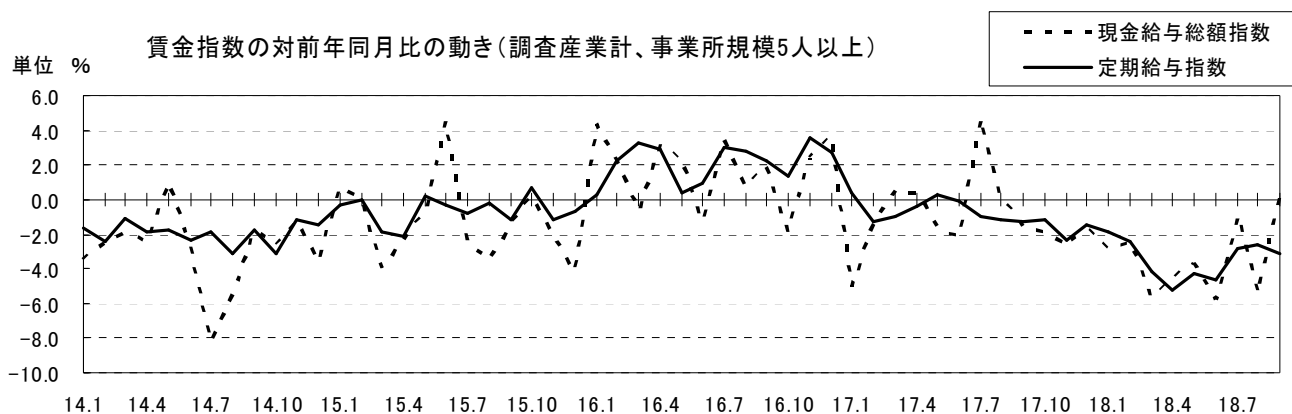
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成18年9月の定期給与は225,256円で定期給与指数(平成12年=100)では94.9となり、前年同月比3.2%減(現金給与総額233,995円、現金給与総額指数81.1、前年同月比0.4%増)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は82.7となった。

所定外労働時間は8.9時間で、所定外労働時間指数では103.5となり、前年同月と同水準となった。

平成18年10月の有効求人倍率(季節調整値)は0.45倍で、前月より0.03ポイント上回った。



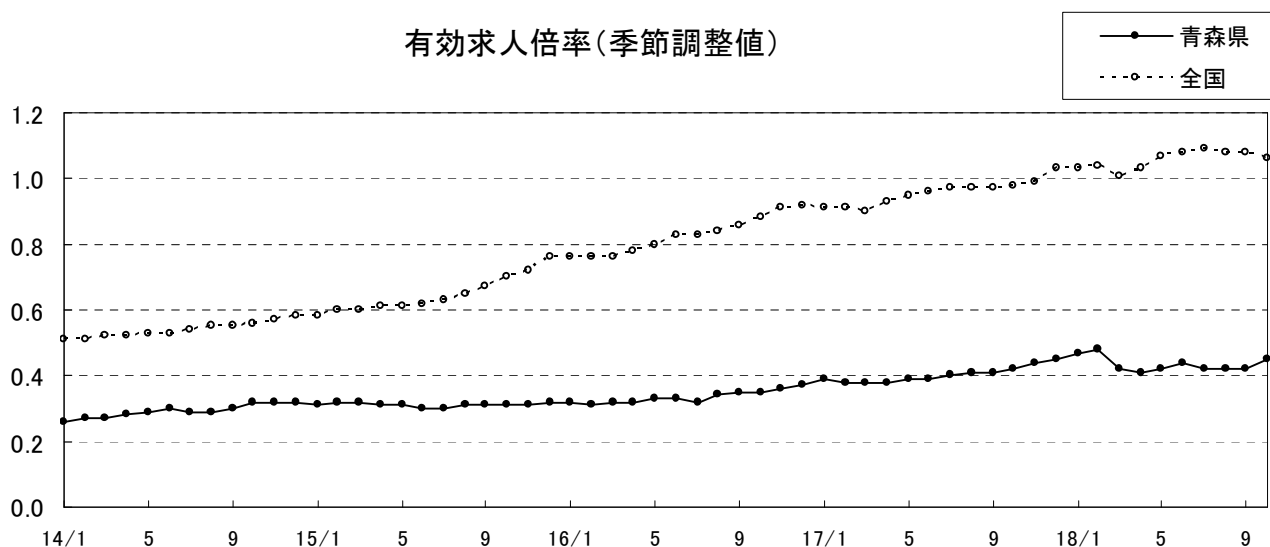
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	233,995 円	276,818 円	81.1	78.4	0.4 %	0.1 %
定期給与	225,256 円	272,297 円	94.9	96.5	-3.2 %	0.0 %
特別給与	8,739 円	4,521 円	—	—	—	—
総実労働時間	158.6 時間	151.7 時間	100.1	98.6	-1.4 %	0.4 %
所定内労働時間	149.7 時間	141.2 時間	99.9	98.0	-1.4 %	0.2 %
所定外労働時間	8.9 時間	10.5 時間	103.5	107.1	0.0 %	2.9 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成18年10月の青森市消費者物価指数（平成17年=100）は、総合指数が100.0となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

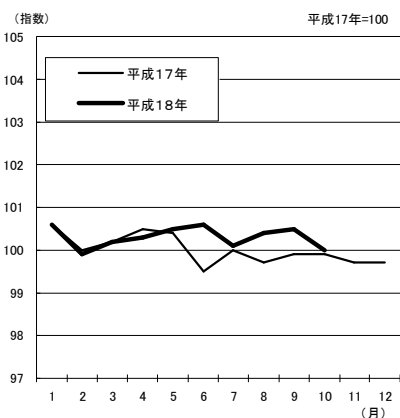
生鮮食品を除く総合指数は99.9となり、前月と比べ0.4%の下落、前年同月比0.3%の下落となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は98.8となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ1.1%の下落となった。

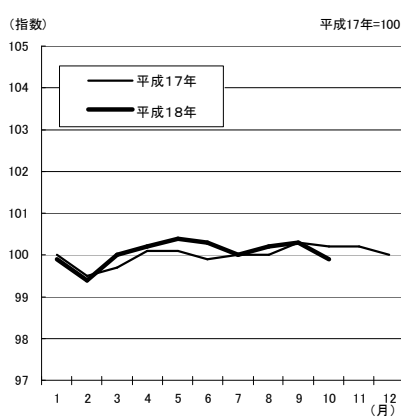
総合指数が前月と比べ0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、光熱・水道などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道などの上昇が要因となっている。

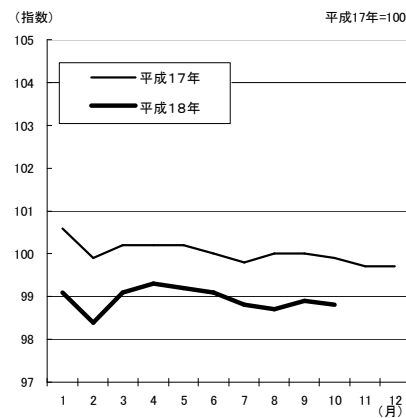
総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被及履	服び物	保医	健康	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	100.0	99.9	100.2	98.8	99.0	100.4	98.7	107.4	94.1	102.1	100.3	100.0	100.6	98.1	100.7			
前月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 3.6	0.0	▲ 1.6	0.5	2.7	0.9	▲ 1.0	0.0	▲ 1.1	0.0			
寄与度	▲ 0.50	▲ 0.38	▲ 0.59	▲ 0.06	▲ 0.34	▲ 0.21	0.00	▲ 0.17	0.02	0.11	0.04	▲ 0.11	0.00	▲ 0.11	0.00			
前年同月比 (%)	0.1	▲ 0.3	0.3	▲ 1.1	0.5	6.7	▲ 1.2	4.2	▲ 4.4	1.8	0.7	▲ 0.8	0.4	▲ 1.7	0.7			
寄与度	0.10	▲ 0.28	0.25	▲ 0.70	0.14	0.36	▲ 0.25	0.43	▲ 0.13	0.07	0.03	▲ 0.09	0.01	▲ 0.17	0.04			

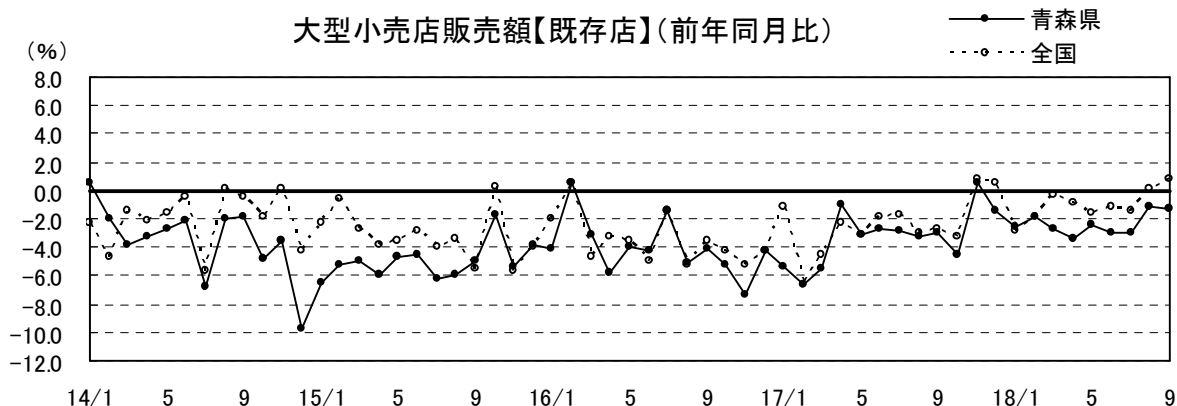
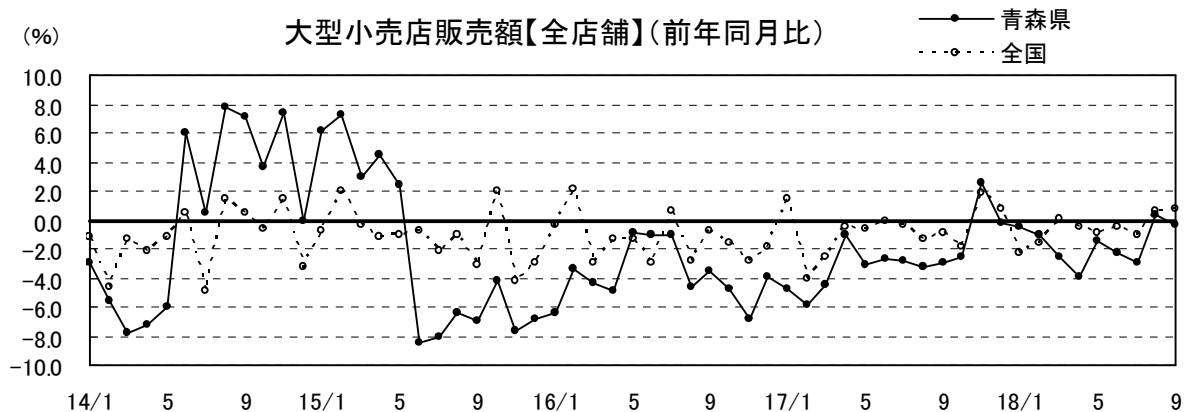
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

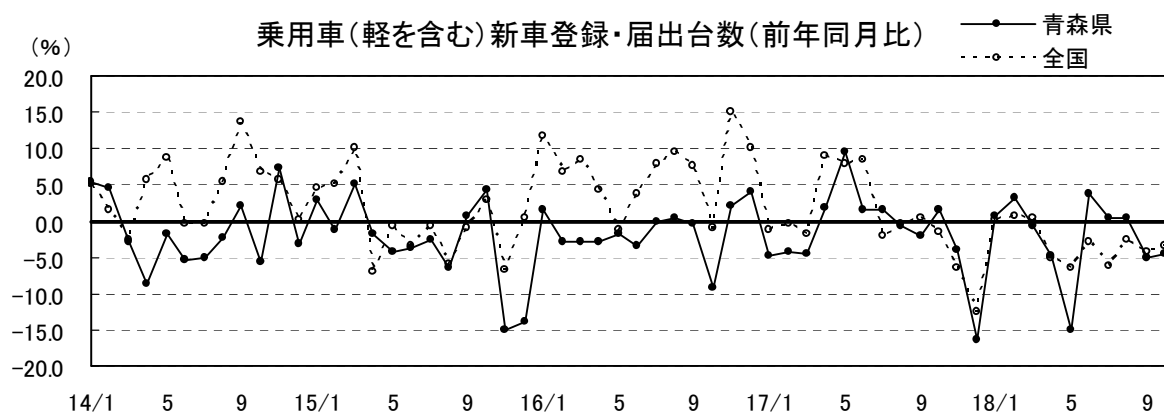
平成18年9月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが134億3千3百万円で前年同月比0.4%減と2ヶ月ぶりに減少、既存店ベースでは1.3%減と10ヶ月連続で減少となった。百貨店は中旬以降の気温の低下から秋物衣料が好調で、身の回り品等も伸びたことから、7ヶ月ぶりに前年を上回った。スーパーは既存店ベースでは10ヶ月連続で前年を下回ったものの、全店舗ベースでは、主力の飲食料品や、家庭用品が伸びを見せたことから、2ヶ月連続で前年を上回った。

平成18年10月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は、3,545台で、前年同月比4.7%の減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。軽自動車が5ヶ月連続でプラスとなったが、普通車が3ヶ月連続、小型車が7ヶ月連続で減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

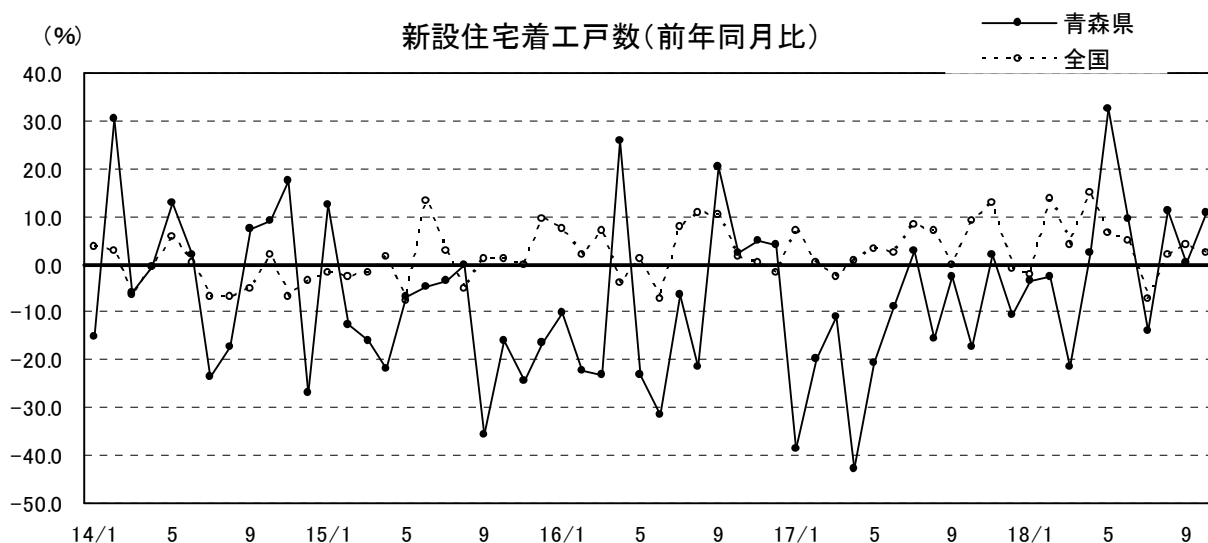
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

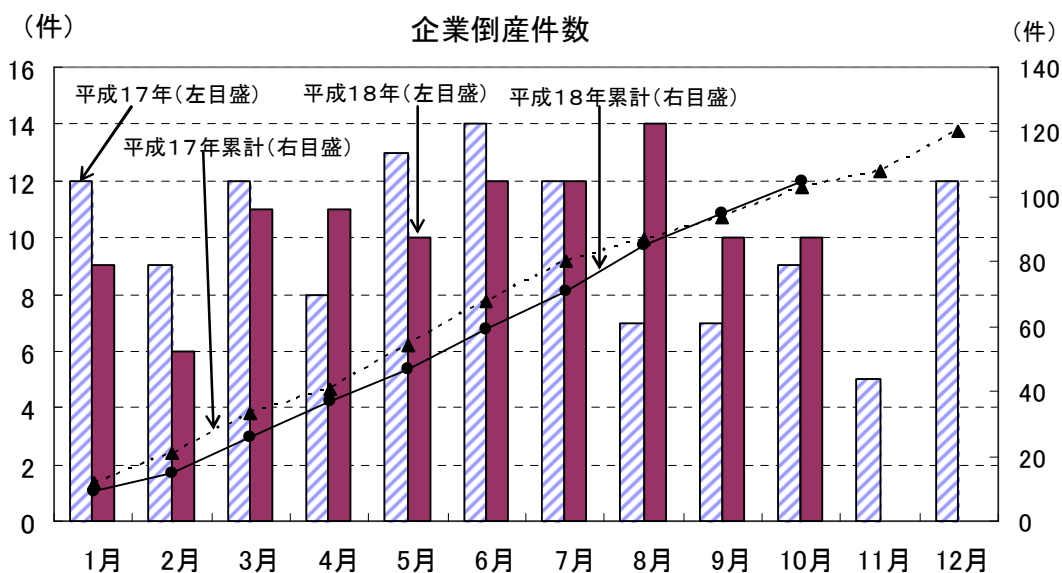
平成18年10月の新設住宅着工戸数は847戸で、前年同月比10.6%増となり、3ヶ月連続で前年を上回った。持家と貸家が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 企業倒産

平成18年10月の企業倒産件数は10件で、3ヶ月連続で前年を上回った。



資料：(株)東京商工リサーチ青森支店・八戸支店（負債総額1,000万円以上）

(3) 青森県景気動向指数

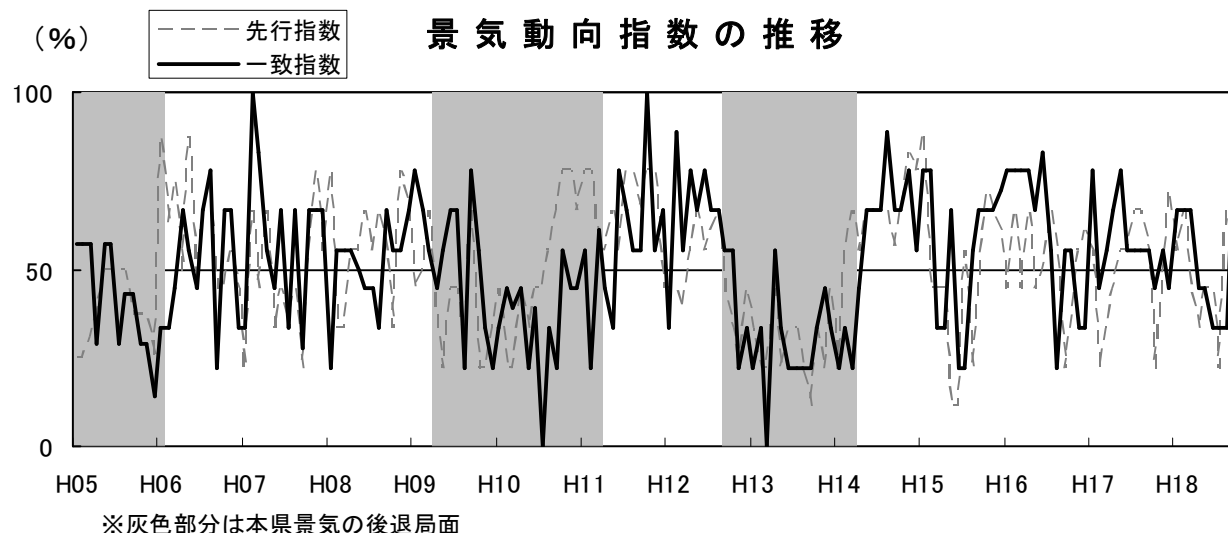
平成18年9月の青森県景気動向指数は、先行指数44.4%、一致指数77.8%、遅行指数50.0%となった。

先行指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は、6か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は、2か月ぶりに50%を下回った後50%となった。

9月の一致指数は、生産および雇用関連指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中4指標がプラス)			
所定外労働時間指数 (全産業)	3か月連続	乗用車新車登録届出台数	2か月ぶり
入職率 (製造業)	2か月連続	生産財生産指数	6か月連続
建築着工床面積	2か月連続	新規求人倍率 (全数)	8か月連続
中小企業景況D I	3か月連続	新設住宅着工床面積	2か月ぶり
		企業倒産負債額	3か月連続
一致系列 (9指標中7指標がプラス)			
大型小売店販売額 (既存店)	2か月連続	大口電力使用量	4か月連続
鉱工業生産指数	9か月ぶり	海上出入貨物量 (八戸港)	5か月連続
電気機械生産指数	7か月連続		
有効求人数 (全数)	7か月ぶり		
総実労働時間数 (全産業)	6か月ぶり		
東北自動車道IC利用台数	2か月ぶり		
日銀券月中発行高	6か月連続		
遅行系列 (6指標中3指標がプラス)			
常用雇用指数 (製造業)	4か月ぶり	勤労者世帯家計消費支出 (実質)	3か月連続
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり	単位労働コスト (製造業)	2か月ぶり
青森市消費者物価指数 (帰属家賃除く)	7か月連続	輸入通関実績 (八戸港)	2か月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」